

目指す姿	政策	施策	施策の目指す姿	施策の成果目標値	単位	計画策定時	27年度	28年度	29年度	目標値30年度	達成状況	施策別まとめ	政策別まとめ	
1 子育て・子育てをみんなで支え、子どもたちの明るい声がひびくまち	A1 子どもを育てることがうれしいと思えるまちづくり	A1-1 子育て家庭への支援	親が親として成長し、子育てに安心と喜びを見出すために、子どもの最善に配慮した多様な働き方やライフスタイルが尊重され、子育ての喜びが感じられるよう、多様なサービス基盤のもとに社会的な支援が展開されています。	①多摩市は「子育てがしやすい」と答える子育て期の市民の割合	%	67.7	70.2	—	62.8	75.0		・「①多摩市は「子育てがしやすい」と答える子育て期の市民の割合」は、一時増加したものの現在は低下傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②子育てひろば事業への参加者数」は、実施箇所数の拡大により大きく増加傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「③保育所待機児数の待機率」は、一時減少したもののその後は再び計画策定時の水準で横ばいになっており、このまま推移すると目標達成は困難。	・9指標のうち5指標が既に目標を達成している。 ・A1-2「子どもの健やかな成長への支援」は概ね目標を達成している見込みである。 ・一方、A1-1「子育て家庭への支援」、A1-3「子育て・子育てを育む地域づくり」には目標の達成が難しい指標が残っている。	
				②子育てひろば事業への参加者数	人	36,101	75,656	89,140	94,005	50,000	◎			
				③保育所待機児数の待機率(待機児童数/認可定員)	%	3.1	1.8	2.9	3.0	0に近づける				
		A1-2 子どもの健やかな成長への支援	子どもたちが、のびのびと、その子らしく育つために、周囲の大人たちが子どもたちを人として尊重し、あたたかく見守っています	①高校生までの人口に占める児童館(地域子育て支援拠点施設)登録児童館数の割合	%	53.0	55.7	59.8	60.1	60.0	◎			
				②青少協地区委員会活動への青少年参加者数	人	20,404	21,439	19,318	20,481	20,700				
				③夏休みボランティア体験者数	人	242	171	164	339	270	◎			
	A1-3 子育て・子育てを育む地域づくり	豊かな子育て・子育てを実現するため、地域のみならず、子どもを介した地域活動をより活発化し、市民相互の支え合いが展開されています	①子どもの安全を見守る地域の大人の数	人	5,460	5,457	5,206	5,200	6,000					
			②ファミリー・サポート・センターの会員数	人	1,052	1,215	1,262	1,305	1,200	◎				
			③学校で子どもを対象とした活動に参加する大人の数	人	4,480	4,692	4,750	5,247	5,000	◎				
	A2 人と学びを未来につなぐまちづくり	A2-1 学力の伸長と個性・創造性の育成	多摩市の全ての児童・生徒が、自立して社会で生き、持続可能な社会を担っていくために必要な基礎・基本を身につけています	①学んだことを日常生活に「生かしている」「どちらかといえば生かしている」と回答している割合(全国平均を100としたもの)	-	-	-	-	-	-	-	-	・「①学んだことを日常生活に生かしている」「どちらかといえば生かしている」と回答している割合」の全国平均との比較値は、小6、中3ともに計画策定時から増加しているものの、このまま推移すると目標値には届かない見込み。 ・「②教員のICT活用指導力アンケートにおける「わりができる」「ややできる」の割合(全項目平均)」は、小学校では横ばいになっており、このまま推移すると目標達成は困難。中学校では増加傾向にあるものの、こちらも目標値には届かない見込み。	・16指標のうち5指標が既に目標を達成している。 ・A2-1「学力の伸長と個性・創造性の育成」では、目標値に近づいている指標もあるものの、全ての指標で目標達成が困難な見込みとなっている。
				・算数小6	%	81.0	106.5	100.30	99.5	110				
				・数学中3	%	83.2	94.4	86.90	92.3	100				
②教員のICT活用指導力アンケートにおける「わりができる」「ややできる」の割合(全項目平均)				-	-	-	-	-	-	-				
・小学校				%	74.0	72.7	72.4	74.9	90.0					
・中学校				%	74.9	73.7	77.7	81.2	90.0					
A2-2 心の教育や体験活動の推進		多摩市の全ての児童・生徒が、人と協調しつつ社会生活を送るために必要な、柔らかな感性、正義感や公正さを重んじる心、生命を大切にし人権を尊重する心を育てています	①全国学力・学習状況調査において、「いじめはいけない」と回答している割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			・小6	%	78.0	83.2	96.4	96.6	90	◎				
			参考値(全国)	%	79.9	81.8	96.6	96.1	-	-				
			・中3	%	66.8	66.8	90.4	90.2	90	◎				
			参考値(全国)	%	71.4	73	93.6	92.8	-	-				
			②不登校児童・生徒出現率	-	-	-	-	-	-	-				
・小学校		%	0.74	0.34	0.56	0.28	0.28							
参考値(全国)		%	0.40	0.42	0.48	-	-							
・中学校		%	2.55	3.85	4.50	2.14	2.14							
参考値(全国)		%	2.70	2.83	3.01	-	-							
③不登校児童・生徒のうち、学校の教員以外の支援がある児童・生徒の割合		-	-	-	-	-	-	-						
・小学校		%	26.9	41.6	53.8	42.4	100							
・中学校	%	34.6	40.8	54.4	45.7	100								
A2-3 健康教育と環境教育の推進	多摩市の全ての児童・生徒が、生涯にわたって健康に生きていくために必要な、調和のとれた生活習慣や食習慣を確立しています。また、持続可能な社会の担い手として必要な、環境に対する深い理解を身につけています	①全国体力・運動能力、運動習慣等調査における全種目の平均値(※全国平均を100としたもの)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・小5・中2の「①全国体力・運動能力、運動習慣等調査における全種目の平均値」の全国平均との比較値は、増加傾向にあり既に目標を達成している。 ・「②グリーンカーテンの取り組み」は市内全校での実施を続けており、目標達成済み。 ・「自然エネルギーを活用した学校数」は平成27年以降横ばいになっており、このまま推移すると目標達成は困難。		
		・小5男女、中2男女	%	98.2	98.4	98.95	100.44	100	◎					
		②グリーンカーテンの取り組み	校	27	27	26	26	市内全校	◎					
A2-4 学校・家庭・地域等の連携の推進	多摩市の全ての児童・生徒の健やかな成長を育むために、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を認識し、相互の連携により多様な活動を展開しています	①市内小中学校における学校支援の仕組みの設置数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	・「①市内小中学校における学校支援の仕組みの設置数」は、小学校では増加傾向にあるものの、このまま推移すると目標値には届かない見込み。中学校では増加傾向にあり既に目標を達成している。 ・「②教育連携支援事業で学校教育活動に携わったボランティアの数」は微減傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。		
		・小学校	校	8	10	12	11	15						
		・中学校	校	3	5	7	8	7	◎					
		②教育連携支援事業で学校教育活動に関わったボランティアの数	人	4,052	3,738	3,731	3,717	5,000						

目指すま ちの姿	政策	施策	施策の目指す姿	施策の成果目標値	単位	計 画 策 定 時	27年度	28年度	29年度	目 標 値 30年度	達 成 状 況	施策別分析	政策別まとめ
2 みんな が明る く、安心 して、いき いきと暮 らしてい るまち	B1 生涯にわ たって健 やかでい きいきと 暮らせる まちづくり	B1-1 ライフ ステージ に応じた 健康支援 と市民自 ら取り組 む健康な 生活習慣	豊かでいきいきとした毎日を送るため、ライフステージにあった健康診査や各種検診などを受けるとともに、食事や運動など市民自ら健康づくりに取り組んでいます	①自分が「とても健康」、「まあまあ健康」だと感じている市民の割合	%	82.0	82.1	-	76.6	82.5		・「①自分が「とても健康」、「まあまあ健康」だと感じている市民の割合」は、平成29年度に減少しており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②健康のために実践していることがある市民の割合」は、平成29年度に増加しており、このまま推移すると概ね目標を達成する見込み。 ・「③乳児(3~4か月児)健康診査受診率」は、微減傾向にはあるものの、概ね目標を達成する見込み。	・5指標のうち1指標が既に目標を達成している。 ・B1-1「ライフステージに応じた健康支援と市民自らの健康な生活習慣」では、目標達成に近づいている指標もあるものの、全ての指標が平成29年度時点で目標未達成となっている。
			②健康のために実践していることがある市民の割合	%	59.8	59.6	-	62.1	65.0				
			③乳児(3~4か月児)健康診査受診率	%	98.0	98.5	97.8	97.0	98.0				
		B1-2 健康を支 えるネッ トワーク	安心して生活を送ることができるよう、必要な時に必要な情報を得て、適切な予防、適切な医療が受けられる体制が整えられています	①かかりつけの医師を持つ市民の割合	%	56.4	60.1	-	54.4	60.0		・「①かかりつけの医師を持つ市民の割合」は、一時増加したものの、現在は計画策定時の水準となっており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②結核(BCG)定期予防接種の接種率」は増加傾向にあり、既に目標を達成している。	
			②結核(BCG)定期予防接種の接種率	%	88.7	99.1	99.7	103.4	95.0	◎			
	B2 だれもが 安心して 暮らせる 支え合う まちづくり	B2-1 地域福祉 の推進	地域の多様なニーズに応えるため、地域課題を市民自らが発見し、課題の解決に向けて、互いに力を出し合い、支えあっています	①地域福祉の推進についての市政に「満足」「やや満足」している市民の割合	%	14.8	15.3	-	18.5	増やす	◎	・「①地域福祉の推進についての市政に「満足」「やや満足」している市民の割合」は増加傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「②高齢者、障がい者の介助ボランティア活動に参加している、あるいは参加したことがある市民の割合」は減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。	・6指標のうち4指標が既に目標を達成している。 ・B2-3「社会保険制度の健全な運営」では2指標とも既に目標を達成している。
				②高齢者、障がい者の介助ボランティア活動に参加している、あるいは参加したことがある市民の割合	%	13.3	12.3	-	8.5	増やす			
		B2-2 セーフ ティネッ トによる 生活支援	失業、犯罪、困窮など不慮の境遇となったときも、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、経済的・精神的両面で適切にサポートされています	①生活保護受給中に就労を開始した人数	人	99	103	66	72	増やす		・「①生活保護受給中に就労を開始した人数」は平成28年度以降に減少しており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②犯罪被害者等支援啓発事業参加者数」は平成27.28年度には計画策定時を下回ったものの平成29年度には増加しており、既に目標を達成している。	
				②犯罪被害者等支援啓発事業参加者数	人	680	548	651	802	800	◎		
		B2-3 社会保険 制度の健 全な運営	相互扶助である社会保険制度を持続し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるため、給付と負担のバランスに配慮された健全な国民健康保険制度と介護保険制度の運営に取り組み、引き続き必要な医療や介護を受けられています	①特定健康診査実施率	%	45.8	47.8	47.7	47.0 (見込)	増やす	◎	・「①特定健康診査実施率」は微増傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「②介護保険居宅系サービスの利用率」は平成28年度から平成29年度にかけて減少しているものの、既に目標は達成している。	
				②介護保険居宅系サービスの利用率	%	80.4	85.0	94.1	88.6	82.5以上	◎		
	B3 高齢者が いきいき と暮らさ せるまち づくり	B3-1 地域にお ける高 齢者支 援	超高齢社会においても、自助・共助の理念により地域で高齢者が生き生きと暮らしていくため、さまざまな担い手の力を結集して支援しています	①地域包括支援センター周知度	%	35.3	38.0	-	40.6	50.0		・「①地域包括支援センター周知度」は増加傾向にあるものの、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②老人福祉センター事業参加者数」は減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。	・4指標のうち2指標が既に目標を達成している。 ・B3-2「権利擁護と介護予防の推進」は2指標とも既に目標を達成している。 ・一方で、B3-1「地域における高齢者支援」は2指標とも目標達成が困難な見込みである。
②老人福祉センター事業参加者数				人	9,912	9,899	9,421	9,175	12,100				
B3-2 権利擁護 と介護予 防の推進		認知症になっても自分らしく豊かに暮らすために、様々な権利が擁護されるとともに介護予防に取り組むことにより、高齢者が安心して地域で暮らし続けています	①認知症サポーター養成講座受講者数	人	7,528	9,885	11,017	11,870	9,000	◎	・「①認知症サポーター養成講座受講者数」は増加傾向にあり、既に目標は達成している。 ・「②介護予防事業の延べ参加者数」は増加傾向にあり、既に目標を達成している。		
			②介護予防事業の延べ参加者数	人	3,509	4,009	18,699	23,056	4,200	◎			
B4 障がい者 が安心して 暮らせる まちづくり	B4-1 障がい者 が暮らし やすいま ちづくり	障がいのある人もない人も、共に生きる地域社会づくりのために、障がい者への正しい理解促進と住民相互の支援体制の充実を目指します	①市民が「高齢者、障がい者等が安全に、安心して暮らすことができるまちだと思ふ、どちらかといえばそう思う、普通」と回答している割合	%	72.3	73.8	-	70.6	80.0		・「①市民が「高齢者、障がい者等が安全に、安心して暮らすことができるまちだと思ふ、どちらかといえばそう思う、普通」と回答している割合」は、平成29年度に減少しており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②障がい者が「現在の住まいに引き続き」「市内で転居する」と回答している割合」は、平成29年度に増加しており、既に目標を達成している。	・5指標のうち4指標が既に目標を達成している。 ・B4-2「ライフステージを見据えた支援体制の構築」は全ての指標で既に目標を達成している。	
			②障がい者が「現在の住まいに引き続き」「市内で転居する」と回答している割合	%	63.7	-	-	68.5	増やす	◎			
	B4-2 ライフ ステージ を見据え た支援体 制の構築	障がい者および障がい児が安心して自立した生活を送るために、関係機関との連携と社会資源の効率的、効果的な活用を図りながら、生涯を通じた支援とそれぞれの時期に対応する支援が円滑に行われています	①手帳所持者に対する、障害者総合支援法における及び児童福祉法におけるサービス受給者数の割合	%	17.5	19.8	19.9	21.2	増やす	◎	・「①手帳所持者に対する、障害者総合支援法における及び児童福祉法におけるサービス受給者数の割合」は増加傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「②手帳所持者に対する、地域活動支援センター、障害福祉課及び発達支援室における延べ相談者数の割合」は増加傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「③手帳所持者に対する、障がい者就労支援事業における就労・生活支援延べ相談者数の割合」は平成28年度まで減少傾向にあったものの平成29年度に大幅に増加しており、既に目標を達成している。		
②手帳所持者に対する、地域活動支援センター、障害福祉課及び発達支援室における延べ相談者数の割合	%	224.4	376.8	449.5	505.1	増やす	◎						
		③手帳所持者に対する、障がい者就労支援事業における就労・生活支援延べ相談者数の割合	%	69.5	61.8	51.8	93.2	増やす	◎				

目指すまちの姿	政策	施策	施策の目指す姿	施策の成果目標値	単位	計画策定時	27年度	28年度	29年度	目標値30年度	達成状況	施策別分析	政策別まとめ		
3 みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち	C1 地域で支え合い、暮らせるまちづくり	C1-1 市民主体による地域づくり、まちづくりの推進	支え合いを通じた安心して暮らせる地域社会を形成するため、市民が自らの住む地域を自らの力で住み良くする取り組みを行っています	①多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体数	団体	67	69	64	58	75		<ul style="list-style-type: none"> ・「①多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体数」は平成27年度以降減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②自治会・町会・管理組合の加入率、加入団体数」は、加入率は微減傾向にあるものの概ね目標を達成する見込み。加入団体数は増加傾向にあり既に目標を達成している。 ・「③コミュニティセンター運営協議会委員の人数」は年度ごとに変動があるものの、このまま推移すると概ね目標を達成する見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・11指標のうち2指標で既に目標を達成している。 ・C1-3「多様な担い手の力をまちづくりに活かす仕組みづくり」では、目標達成に近づいている指標もあるものの、全ての指標が平成29年度時点で目標未達成となっている。 		
				②自治会・町会・管理組合の加入率、加入団体数	%	56.1	55.8	55.9	55.5	57.0					
				③コミュニティセンター運営協議会委員の人数	人	452	452	448	469	480	◎				
		C1-2 学びから、人づくり・まちづくりを推進	それぞれの知識や経験を活かした地域づくり、まちづくりを進めるため、地域活動に参加できる環境が整い、市民相互の学び合いを通じた活動が活性化しています	①地域活動にかかわる各種団体、人数	団体	79	81	78	71	85				<ul style="list-style-type: none"> ・「①地域活動にかかわる各種団体、人数」は、共に減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②地域活動につながる人材の発掘・養成に向けた講座事業数、受講者数」は、事業数は平成27年度に減少した後は横ばいとなっており、このまま推移すると目標達成は困難。一方、受講者数は平成27年度以降増加傾向にあり、既に目標を達成している。 	
				②地域活動につながる人材の発掘・養成に向けた講座事業数、受講者数	事業	4	3	3	3	4					
					人	436	375	405	491	440	◎				
		C1-3 多様な担い手の力をまちづくりに活かす仕組みづくり	それぞれの地域やそのときに応じた課題を解決していくために、市民と行政、また、市民同士が目標を共有し、信頼し合い、協働によるまちづくりを進めています	①協働事業(後援を除く)の数	事業	128	115	112	120	130					<ul style="list-style-type: none"> ・「①協働事業(後援を除く)の数」は平成28年度まで減少しており、平成29年度には増加しているもののこのまま推移すると目標達成は困難。 ・「②多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体数」は平成27年度以降に減少しており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「③多摩市内のNPO法人数」は増加傾向にあり、このまま推移すると概ね目標を達成する見込み。
				②多摩ボランティア・市民活動支援センター登録団体数	団体	67	69	64	58	75					
				③多摩市内のNPO法人数	団体	84	85	88	89	90					
	C2 豊かな心を育む、学びと文化、交流のまちづくり	C2-1 市民の文化・スポーツ、学習活動の振興	こころ豊かな暮らしを送るために、市民は、整備された環境のもとで、文化・スポーツ・学習活動を気軽に楽しんでいます	①趣味のクラブや文化・スポーツサークル等に参加している市民の割合	%	42.2(9.2)	45.9(11.1)	-	12.6	44.0(未設定)		<ul style="list-style-type: none"> ・「①趣味のクラブや文化・スポーツサークル等に参加している市民の割合」は割合積算方法が変更された(括弧内の数値)。そのため、現在の積算方法に基づく数値の推移を見ると、数値は増加傾向にあるが、目標値との比較は不可能である。 ・「②市民文化祭の参加団体数、参加者数」は、団体数・人数共に増加傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「③週1回以上スポーツをした人の割合(体操やウォーキング等を含む)」は増加傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「④市民1人当たりの、図書館の個人貸出冊数及びリサイクルで頒布した資料数」は減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・15指標のうち7指標で既に目標を達成しているが、各施策に目標達成が困難な見込みの指標が残っている。 		
				②市民文化祭の参加団体数、参加者数	団体	31	31	36	37	31	◎				
				③週1回以上スポーツをした人の割合(体操やウォーキング等を含む)	%	32.0	50.3	-	53	40.0	◎				
				④市民1人当たりの、図書館の個人貸出冊数及びリサイクルで頒布した資料数	冊	11.9	11.6	11.4	11.2	12.0					
		C2-2 多様な交流と共生によるまちづくり	豊かなこころを育み、いきいきとしたコミュニティを醸成していくために、世代や地域、国籍等を超えて、お互いを認め尊重し合いながら、多様な交流・連携が行われています	①コミュニティセンターを中心とした地域内の交流事業の実施数及び参加者数	事業	16	18	21	23	26				<ul style="list-style-type: none"> ・「①コミュニティセンターを中心とした地域内の交流事業の実施数及び参加者数」は、事業数は増加傾向にあり、このまま推移すると目標を達成する見込み。また参加者数は増加傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「②コミュニティセンターを中心とした世代間交流事業の実施数、参加者数」は、共に増加傾向にあり既に目標を達成している。 ・「③友好都市富士見町ほか、他市との交流・共同事業数、参加者数」は、事業数は平成29年度に増加しているものの、このまま推移すると目標達成は困難。また、参加者数は平成27年度に大きく減少しており、こちらもこのまま推移すると目標達成は困難。 ・「④国際交流活動に「参加している」、「参加していた」、市民の割合」は減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。 	
				②コミュニティセンターを中心とした世代間交流事業の実施数、参加者数	事業	13	15	16	16	16	◎				
③友好都市富士見町ほか、他市との交流・共同事業数、参加者数				事業	7	6	6	7	8						
④国際交流活動に「参加している」、「参加していた」、市民の割合				%	6.8	5.8	-	4.8	7.5						
C2-3 文化の継承と創造		「ふるさと多摩」への愛着を持って豊かな地域社会づくりを進めるために、まちの歴史と文化を継承するとともに新たな地域文化の創出に向け、多様な市民活動が活発に行われています	①郷土資料室及び文化財資料室等の小学3、4年生の見学者割合	%	70.0	76.0	84.7	70.6	78.0		<ul style="list-style-type: none"> ・「①郷土資料室及び文化財資料室等の小学3、4年生の見学者割合」は増加傾向にあったものの平成29年度には減少しており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②郷土文化の公開、文化財施設の入場者数・入館者数」は、平成29年度には前年度より減少しているものの、すでに目標は達成している。 ・「③パルテノン多摩来館者数(年間)」は、平成27年度以降減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。 				
			②郷土文化の公開、文化財施設の入場者数・入館者数	人	170,016	219,675	222,844	198,308	173,000	◎					
			③パルテノン多摩来館者数(年間)	人	507,482	552,143	520,992	497,009	521,000						
C3 だれもが平等で互いに尊重しあうまちづくり		C3-1 平和の希求と人権の尊重	こころ豊かに生き生きと暮らせるまちであるために、市民一人ひとりが世界の恒久平和の実現に向けて努めるとともに、人権の尊厳を深く認識し、差別をなくす土壌がつけられています	①「多摩市平和展」の入場者数	人	1,718	1,927	2,431	2,335	3,000					
	②人権啓発事業参加者延べ人数			人	4,756	2,744	2,052	1,981	2,500						
	C3-2 男女平等・男女共同参画の推進	男女平等と自立に支えられた男女共同参画社会を実現するために、あらゆる分野において男女がともに参画して活動しています	①市の行政委員会、付属機関等における女性委員の比率	%	38.9	41.2	40.0	40.1	47.3			<ul style="list-style-type: none"> ・「①市の行政委員会、付属機関等における女性委員の比率」は横ばいとなっており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②TAMA女性センターの利用者数」は平成27年度以降減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。 			
			②TAMA女性センターの利用者数	人	6,968	8,006	6,919	6,254	7,600						

目指すまちの姿	政策	施策	施策の目指す姿	施策の成果目標値	単位	計画策定時	27年度	28年度	29年度	目標値30年度	達成状況	施策別分析	政策別まとめ
4 働き、遊び、学び、遊び、みんなが活気と魅力を感じるまち	D1 人々が集い、働く、活気と魅力あふれるまちづくり	D1-1 商工業の振興による地域経済の活性化の推進	市民の豊かな暮らしに貢献する活力あるまちをつくるために、個性と魅力ある商店街の形成を図られ、また市民・大学などと企業との連携・協働による取り組みにより、新たなビジネスが育つなど、企業活動が活発になり、市内で雇用も創出されています	①事業所数	事業所	3,997	4,009	4,009	4,009	4,000	◎	・「①事業所数」は平成21年度から平成26年度にかけて増加しており、すでに目標を達成している。 ・「②企業誘致条例による指定企業数」は平成29年度には前年度から増加しているものの、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「③従業員数」は平成21年度から平成26年度にかけて微減しているものの、このまま推移すると概ね目標を達成する見込み。 ・「④市内4駅の1日平均乗降客数」は増加傾向にあり、このまま推移すると概ね目標を達成する見込み。	・9指標のうち1指標が既に目標を達成している。 ・D1-2「観光の視点からのまちの魅力づくりの推進」及び「D1-3都市農業の振興による農からのまちづくりの推進」では、目標達成に近づいている指標もあるものの、全ての指標が平成29年度時点で目標未達成となっている。
				平成21年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度						
				②企業誘致条例による指定企業数	社	8	7	7	8	10			
				③従業員数	人	66,931	65,632	65,632	65,632	67,000			
		④市内4駅の1日平均乗降客数	人	319,737	327,392	335,106	335,611	350,000					
		D1-2 観光の視点からのまちの魅力づくりの推進	市内外から多くの人が訪れ、にぎわいが創出されるまちづくりを進めるために、市民と事業者が協働して、地域にある資源や個性を活かした街の魅力づくりを実践し発信するなど、様々な活動が活発に行われています	①ロケ撮影受入件数	件	152	117	145	147	153		・「①ロケ撮影受入件数」は平成27年度に減少したものの概ね横ばいとなっており、このまま推移すると概ね目標を達成する見込み。 ・「②聖蹟桜ヶ丘駅周辺(2イベント)・多摩センター駅周辺(10イベント)での主なイベントの集客数」は平成27年度以降減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。	
				②聖蹟桜ヶ丘駅周辺(2イベント)・多摩センター駅周辺(10イベント)での主なイベントの集客数	万人	319	345	337	312	330			
				③認定農業者数	戸	5	4	4	4	8			
		D1-3 都市農業の振興による農からのまちづくりの推進	市民の農業への理解を高め、安定した農業経営と農地の保全がなされるために、地産地消や食育に関して様々な活動が展開されるとともに、市民が様々な形で「農」に触れあい、魅力と活力ある農業により担い手も確保されています	②農地面積	ha	44.7	42.8	42.7	41.8	現状維持	・「①認定農業者数」は平成27年度に減少した後は横ばいとなっており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②農地面積」は減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「③家庭菜園及び体験型市民農園数」は減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。		
				③家庭菜園及び体験型市民農園数	箇所	10	9	9	8	11			
				④市内交通事件数(人身事故件数)	件	374	340	286	336	360件以下		◎	
		5 いつまでもみんなが住み続けられる安全で快適なまち	E1 安全・安心のまちづくり	E1-1 減災・防災のまちづくり	市民のだれもが安全で安心して暮らすために、住宅の耐震化により大地震にも耐えられる安全性が確保され、また、市内全域で自主防災組織が結成され、災害時にはお互いに助け合う共助の精神が行き届いています。	①民間特定建築物の耐震化率	%	93.5	-	-	-	95.0%以上	
公共建築物の耐震化率	%					78.0	78.9	80.3	84.5	90.0%以上			
②自主防災組織数	組織					165	172	175	178	180			
③自主防災組織合同訓練実施組織数	組織					64	91	82	86	65	◎		
E1-2 暮らしの安全を守るまちづくりの推進	安全で安心して暮らすために、一人ひとりが高い意識を持ち、市内各地で自主的な防犯活動などを行っています			①犯罪発生件数	件	1,283	1,168	1,016	993	1,154件以下	◎	・「①犯罪発生件数」は減少傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「②多摩稲城防犯協会の支部数」は平成29年度に増加しており、既に目標を達成している。 ・「③消費生活出前講座参加者延べ人数」は減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。	
				(平成25年)	(平成27年)	(平成28年)	(平成29年)	(平成30年)					
				②多摩稲城防犯協会の支部数	支部	20	20	20	21	21	◎		
				③消費生活出前講座参加者延べ人数	人	639	511	456	454	770			
E1-3 交通安全の推進	安心して暮らすために、安全な交通環境が提供され、交通ルール、社会ルールの意識が向上しています			①市内交通事故件数(人身事故件数)	件	374	340	286	336	360件以下	◎	・「①市内交通事故件数(人身事故件数)」は平成29年度は前年度より増加しているものの、全体としては減少傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「②放置自転車数」は、多摩センター駅及び唐木田駅では減少傾向にあり概ね目標を達成する見込み。一方、聖蹟桜ヶ丘駅及び永山駅では減少傾向にあるもの一定数の放置自転車が発生しており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「③交通安全対策について「良い」、「どちらかといえば良い」と答える市民の割合」は減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。	
				②放置自転車数(合計)		139	48	48	39	0に近づける			
				(H25.10.4)	(H27.10.2)	(H28.10.7)	(H29.10.6)						
				聖蹟桜ヶ丘駅	台	56	22	37	20				
		永山駅	8	11	1	8							
多摩センター駅	67	15	9	9									
唐木田駅	8	0	1	2									
③交通安全対策について「良い」、「どちらかといえば良い」と答える市民の割合	%	73.7	70.5	-	66.9	80.0							
E2 安心して快適に暮らせるまちづくり	E2-1 充実した都市機能の維持・更新	将来にわたり都市機能を維持するために、公共建築物や都市基盤施設がより少ないライフサイクルコストで適切かつ効率的に管理・保全されています	①小中学校の大規模改修実施数	校	14	15	17	19	19	◎	・「①小中学校の大規模改修実施数」は増加傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「②橋梁長寿命化修繕計画に基づく耐震補強・補修工事実施数」は増加傾向にあるものの、このまま推移すると目標達成は困難。	・8指標のうち3指標が既に目標を達成している。 ・E2-4「良質な住環境の確保の推進」では、目標達成に近づいている指標もあるものの、全ての指標が平成29年度時点で目標未達成となっている。	
			②橋梁長寿命化修繕計画に基づく耐震補強・補修工事実施数	橋	1橋/113橋	4橋/113橋	11橋/113橋	23橋/113橋	45橋/113橋				
	E2-2 安全でゆとりある道路網の整備	利用者の円滑な移動を可能にするため、広域幹線道路から生活道路に至るまで、道路網が計画的に整備され、安全で快適な道路環境が整っています	①市内交通事故件数(人身事故件数)(再掲)	件	374	340	286	336	360件以下	◎	・「①市内交通事故件数(人身事故件数)(再掲)」は平成29年度は前年度より増加しているものの、既に目標を達成している。 ・「②ユニバーサルデザインブロック設置路線延長割合」は増加傾向にあるものの、このまま推移すると目標達成は困難。		
			②ユニバーサルデザインブロック設置路線延長割合	%	35.0	38.0	41.0	42.0	50.0				
	E2-3 地域性を生かすつバランスの取れた交通体系の構築	だれもが生活しやすく往来できるように、地域性に配慮した交通環境が整ったまちの中で、快適に移動しています	①ミニバス利用者数	人	666,125	761,025	775,625	805,920	67万人台	◎	・「①ミニバス利用者数」は増加傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「②交通の便について、「良い」、「どちらかといえば良い」と答える市民の割合」は減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。		
			②交通の便について、「良い」、「どちらかといえば良い」と答える市民の割合	%	76.0	75.5	-	70.9	80.0				
	E2-4 良質な住環境の確保の推進	多様な世帯が安心して住み続けられるようにするために、地域の特性を活かした住環境が整えられています	①地区計画の地区整備計画面積	ha	410	410	410	412	417		・「①地区計画の地区整備計画面積」は平成29年度に増加しており、このまま推移すると概ね目標を達成する見込み。 ・「②町名地番整理達成率」は横ばいとなっており、このまま推移すると目標達成は困難。		
			②町名地番整理達成率	%	78.0	78.0	78.0	78.0	84.0				

目指すまちの姿	政策	施策	施策の目指す姿	施策の成果目標値	単位	計画策定時	27年度	28年度	29年度	目標値30年度	達成状況	施策別分析	政策別まとめ
6 人・自然・地球 みんなで環境 を大切に するまち	F1 地球と人にやさしい持続可能なまちづくり	F1-1 自然環境・都市環境の保全と創出	すべての生き物にとって大切な自然環境が保全されるとともに、良好な都市環境を創出するために、水と緑が豊かなこのまちをみんなで守り育てています	①みどり率	%	46.7	46.9	-	-	現状維持	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「①みどり率」は平成21年度から平成26年度で微増しており、既に目標を達成している。 ・「②緑の豊かさについて「良い」、「どちらかといえば良い」と答える市民の割合」は減少傾向にあり、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「③地域との合意により改善を行った公園及び緑地の箇所数」は増加傾向にあるものの、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「④河川のBOD(生物化学的酸素要求量)値」は平成27年度に減少した後横ばいとなっており、既に目標を達成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・14指標のうち6指標が既に目標を達成している。 ・F1-4「環境を支える人づくりとパートナーシップの形成」では、目標達成に近づいている指標もあるものの、全ての指標が平成29年度時点で目標未達成となっている。
				②緑の豊かさについて「良い」、「どちらかといえば良い」と答える市民の割合	%	95.8	95.8	-	93.2	現状維持	◎		
				③地域との合意により改善を行った公園及び緑地の箇所数	箇所	27	44	61	76	累計102箇所	◎		
				④河川のBOD(生物化学的酸素要求量)値	mg/ℓ	3mg/ℓ以下	0.9mg/ℓ	1.0mg/ℓ	1.1mg/ℓ	2mg/ℓ以下	◎		
		F1-2 低炭素・省エネルギー社会の構築	限りある資源の消費を抑制するとともに地球環境を保全するために、一人ひとりがCO2削減・省エネルギーに取り組んでいます	①市内の二酸化炭素排出量	t-CO2	694,000	750,000	736,000	710,000	減らす	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「①市内の二酸化炭素排出量」は平成25年度以降減少傾向にあるものの計画策定時の排出量を上回っており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②市施設における電気使用量」は減少傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「③20ワット街路灯のLED比率」は平成29年度に100%まで増加しており、既に目標を達成している。 	
				②市施設における電気使用量	kwh	19,337,675	18,765,528	18,825,798	18,107,174	18,370,791	◎		
				③20ワット街路灯のLED比率	%	17.8	26.2	29.8	100	100	◎		
		F1-3 ごみの少ないまちづくり	市民が衛生的な生活環境のもとで環境負荷の少ない循環型社会を構築していくために、一人ひとりがごみの減量化やリサイクルに取り組んでいます	①総ごみ量	トン	41,205	40,481	38,895	38,098	40,895	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「①総ごみ量」は減少傾向にあり、既に目標を達成している。 ・「②資源化率」は増加傾向にあるものの、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「③市民1人1日あたりのごみ量」は減少傾向にあり、既に目標を達成している。 	
				②資源化率	%	34.3	34.3	34.8	35.0	38.0	◎		
				③市民1人1日あたりのごみ量	グラム	641.4	621.6	597.2	579.0	614.8	◎		
		F1-4 環境を支える人づくりとパートナーシップの形成	身近な環境保全活動が地球規模の環境保全につながることを一人ひとりが意識して行動するために、地域で活動する様々な主体が連携・協力して、環境活動を展開しています	①市と連携して環境関連事業を実施している団体数	団体	8	8	8	8	10	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「①市と連携して環境関連事業を実施している団体数」は横ばいとなっており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「②上記団体の会員等の数」は増加傾向にあり、このまま推移すると概ね目標を達成する見込み。 ・「③公園緑地に関わるボランティア団体数」は概ね横ばいとなっており、このまま推移すると目標達成は困難。 ・「④市と連携して環境関連事業を実施している団体等の学習講座・展示会等の事業実施回数」は平成28年度まで減少傾向にあり、平成29年度には増加したものの、このまま推移すると目標達成は困難。 	
				②上記団体の会員等の数	人	302	354	396	402	432	◎		
				③公園緑地に関わるボランティア団体数	団体	112	108	113	112	127	◎		
				④市と連携して環境関連事業を実施している団体等の学習講座・展示会等の事業実施回数	事業	480	468	450	475	504	◎		